

勿論現在の國家権力がブルジョア支配の道具となり、その行政機關よりつておもことは認める。従つてこれに對しては闘争せなければならぬことは勿論である。しかしながら國家の本質は人々などではない。尊う人間の協力の基礎となる處の深く強いものである。従つて國家及び國民的立場を確認する。即ち總聯合は勞動階級の立場より國際平和を愛し國際間に於ける労働者相互の協力を望むものであるが、同時に日本の労働者たるの立場から、日本國家の存在を確認し、この労働運動の基調に於て、國家的國民的信念を把握しておるものである。

共産主義、ファシズムに就て

共産主義、ファシズムは共に大分憎きれど、やうであら、しかし共産主義、ファシズム共に資本主義の行説りに對して生じた有効なる主張である。

従つて資本主義制廢粉碎と無產階級解放の必須條件と考へておも總聯合はコレ等の主義に全く無関心たり得せ。またいづれどそれくの持長ある事は認めるものである。しかし共産黨なるもの、非國家主義が日本の労働者解放の根本的障害となる。

のみならず、その戰術言動は日本の無產者解放運動に逆行するものがあるものである。殊に未だ日本の労働組合確立せざる時に當つて世上所謂赤根大根占と稱せられる徒輩に至つては、常に左翼的言辞を弄して運動の攪乱と發達を阻害しつゝあるのは、現下の組合運動にとつて最悪の敵くど言ふべきである。然に於て吾々は共産主義反対の態度を鮮明にするものである。

また、ファシズムに就ては、共産黨は自己以外はすべて資本家擁護のファシズムと稱へてゐる。これでは問題にならない。また國家社會主義をファシズムであるといふ者があるが、國家社會主義は國家社會主義であつてファシズムではない。

ファシズムはその理諭的体系未だ成らぬために、色々な見方があるやうであるが、問口を最大に擴げたどに共産黨的見方あり、狹く見るとにはファシズムとはムソリニズムであると言つてゐるところなり。

而して日本労働組合會議の規定したるファシズムは、一、資本主義肯定資本家擁護の立場をとるどり、二、その行動は強權又は暴力による獨裁專制を旨とするどり、